

事業指定助成プログラム助成事業申請書を書く際のポイント その1

申請書を書く前にご覧ください。

1. 事業の実施背景・地域課題

事業を行う社会背景は何ですか。どんな課題の解決を目指しますか。具体例、数字、地域特性なども踏まえて書いてください。

2. 事業の概要・目的・必要性

(1) 目的（目指すべき社会・状態）

(2) 取り組み・活動の概要

(3) 必要性

事業は主にどんなことを行い、その目的(どのような社会や状態を目指すか)は何ですか。なぜ必要ですか。特に、今回の事業実施期間内のみではなく、これまでや今後の取り組みも踏まえて、いかに1の地域課題の解決に結びつけるかを書いてください。

3. 事業実施期間内の具体的な事業内容・計画・目標

2の事業のなかで、今回の事業実施期間内に行う具体的な内容とスケジュール、目標を書いてください。

4. 事業実施期間内の事業により与えられる直接的な社会への影響

3の事業を実施することにより社会にどんな効果がありますか。1の地域や社会課題の解決に向けて、今回の事業実施期間内の事業では社会にどんな影響を与えることができますか。

5. 申請事業終了後のビジョン

3の事業の実施期間終了後にどのように事業を展開しますか。

6. これまでの寄付募集の取り組み

実績の有無のみを理由に不採択とする事はありません。

7. 寄付金獲得方針・プラン

貴団体としてどのように寄付集めをしていきますか。

8. 寄付者や社会に対する事業報告と情報開示の方針・方法

貴団体としてどのように事業の成果や進捗などを寄付者の方や広く社会に発信していきますか。

9. 実施予算

収支の合計は同額ですか。事業の内容と用途が合っていますか。費目、内訳は書かれていますか。寄付が目標額集まらなかった場合、事業執行の方針が明確ですか。

事業指定助成プログラム助成事業申請書を書く際のポイントその2
各項目は以下のようにつながっています。申請書とあわせてご覧ください。

今の社会／地域には、**1. 申請事業の実施背景・地域課題**の様な課題があります。

そのため、**2. (1) 目指すべき社会・状態**を実現させるために、
2. (3) 必要性という必要性がある**2. (2) 取り組み・活動の概要**に取り組んでいます
(これから取り組んでいきます)。

特に、今回は**2. (2) 取り組み・活動の概要**の中でも具体的には
3. 事業実施期間内の具体的な事業内容・計画・目標を実施します。

その結果、**1. 申請事業の実施背景・地域課題**に対して
4. 事業実施期間内の事業により与えられる直接的な社会への影響ができます。

事業実施期間終了後には、
3. 事業実施期間内の具体的な事業内容・計画・目標から
5. 申請事業終了後のビジョンに事業を展開して
1. 申請事業の実施背景・地域課題の解決を目指します。

必要な費用は**9. 実施予算**の通りで、**9. 実施予算**の収入を財源にします。
もし、寄付額が目標額に達しなかった場合は、**9. 実施予算 (3) 事業執行方針**の方針で
対応します。

財源のうち寄付金は**7. 寄付金獲得方針・プラン**のように集めます。

寄付者と社会には**8. 寄付者や社会に対する事業報告と情報開示の方針・方法**
の通り事業報告をし、情報公開につとめます。

申請書記入参考イメージ

